



7月の園だより



2025年6月30日発行

1学期もあと3週間ほどになりました。未満児も以上児もお天気のいい日は毎日水遊び・泥遊び・畑で育てている野菜のお世話・・・とほくぶ幼稚園ロゴマークの「子ども達に水と土と太陽を」を、ど真ん中で楽しんでいる子ども達です。毎週水曜日は就園前の親子が利用されている「子育て広場」を開催しておりますが、初めてほくぶ幼稚園に来られた方も久しぶりに来られた卒園児の方も驚きと感動の声を上げて帰られます。子ども達の笑顔と一緒に職員の笑顔があることにうれしい感想を頂くのです。大人の楽しそうな姿につられながら真似っこから始まる子ども達のあそびです。ワクワクするあそびを其々が見つけられる環境の中で、一人一人が生き生きと楽しむ場所でありたいと思い職員皆で話し合いながら環境も整えています。さて、年長さんは7月末に「夜の幼稚園」という大きな行事に向かいます。午後から登園して夕食づくり（カレー作り）夕方の探検 キャンプファイヤーを取り組みます。生活グループの中で初めて「リーダー」というなまえ・役割と出会い、そして少しずつクラス集団の高まりが芽生えてくる大切なこの時期となっていくます。仲間の中で「大切な自分」が確立し輝いていきます。どの年齢もそうですが、子ども達は一人では育ちません。仲間との関わりの中で育っていきます。1学期の基礎が2学期に繋がっていきます。楽しみに見守り下さい。

7月の行事予定

- 1日（火）おひさまネット一人一役（図書係）①
- 2日（水）おひさまネット一人一役（図書係）②
- 4日（金）内科検診（未満児・年少/親子貸し出し
- 18日（金）教育時間終了日 13:00 降園
- 22日（火）年長児 事前準備登園日
- 23日（水）年長児 夜の幼稚園
- 31日（木）2026年度入園説明会

☆親子絵本貸し出し

7月4日（金）
7月18日（金）返却のみ
13:30～14:30 ほくぶ幼稚園図書室

☆一人一役図書係

持ってくるもの はさみ
場所 ほくぶ幼稚園図書室
時間 9:15～10:30

お世話になります！

8月の行事予定

- 22日（金）ほくぶえんにち
- 26日（火）教育時間開始日 13:00 降園
- 29日（金）緊急引き渡し訓練
1号児：13時 2, 3号：17時まで



引き渡し訓練のご協力のおねがい

●引き渡し時間 全学年 13:00～
各自随時迎え（17:00 全員引き渡し完了）
2,3号児さんもお家族で調整をされておいてください。（緊急時連絡票に記載の方のみ）

縁の下の力もち！

ある時は忍者の主将

バスの運転手をされている益田さんは、ほくぶ幼稚園の環境整備や、園外の引率、時には忍者にも変身し主将として武術も披露することもあります。（実際には空手の先生です）

園庭整備や、登園時に駐車場の整理をされ、子どもたちの安全を見守っていただいている竹森さん、ヤギのはるとゆきの健康状態も日々見守っていただいています。

子どもたちも、益田さん、竹森さんに会うと大きい声で「おはようございます！！」と挨拶を交わし安心できる存在になっています。



ある時は運転手



子どもたちの安全を見守っています。

保護者の皆さん！
子ども達から離れないでね。



事務室は、
私たちに
おまかせ！



「出席調べ書いてください！」と言う年長の係当番の子ども達の声に「待ってね」と笑顔を向ける尾崎さん。電話の音やチャイムの音に事務の手を止め、俊敏に対応するその姿は、まさに風のごとし。

そして、子ども達が事務室に来ると嬉しそうに立ち上がって迎えてくれる白井さんと小材さんは、学園やほくぶ幼稚園の経理や発注などなど多くの事務作業をされています。私たち職員にも気遣ってくださるその姿は、まるで千手観音様のようなのです。

幼稚園ファームでおなじみ村山さんは、DIYも大得意！色々な物を作ってくれます。



子どもたちが楽しみにしている読み聞かせサークル活動！
魔女先生こと、船島先生。



キラキラのコンサートなどで、子ども達に素敵な音色を届けてくれる裕美子さん。



子ども達の今

プール始まりました

ヒマワリが咲いたよ～～



どろんこのすべりだい！

トウモロコシの皮むき体験と
ヒゲのアート



梅雨を楽しむ
梅雨の合間に。。



自然とままごと
コーナーに集ま
ります。



0歳児も芋の苗植え

これで雨がいつ降っても安心♪



桑の実・朝顔・玉ねぎの皮
で色水遊び



ストローをつなげ
て雨を作ったよ



紙を丸めたら
アジサイが
出来ちゃった！！





らいおん活動のご紹介

～ 一人ひとりの“できた！”を育む時間 ～



前回の園だより(6月)では、「らいおん活動とは？」「大切にしていること」をお伝えしました。らいおん活動では、少人数の落ち着いた環境の中で子どもの「できた！」「楽しかった！」という気持ちを大切にしながら、小さな成功体験を積み重ねていくことを目指しています。今回は、実際に 6 月のらいおん活動で取り組んでいる遊びや活動内容、ねらい等をお伝えしたいと思います。



感覚遊び

・感覚遊びは、子どもたちが心地よさを感じながら、無理なくチャレンジできるよう、環境や素材を工夫しています。

◆ スライム遊び

手のひらで握ったり、ちぎったり、伸ばしたり・・・

ひんやり、ぬるぬるした感触を楽しむことで、「触覚」への刺激になり、手や指の感覚が豊かになります。感触に苦手さがある子にとっては、少しずつ”触れる心地よさ”を知るきっかけにもなります。

◆ 新聞遊び

ビリビリ破る、丸める、かぶる、くしゃくしゃにする・・・

手の加減を調整したり、「音」や「手応え」を感じたりすることで、感覚と動きの結びつきが育ちます。また、ダイナミックに遊ぶので、気持ちの発散やストレス解消にも繋がります。



手指の操作

・ひも通し、洗濯ばさみ、小麦粉粘土等、微細運動を促す活動を取り入れています。指先の使い方や目と手の協応(目で見たものに合わせて手を動かす力)を楽しく体験することで、日常生活の動作にも繋がる力を育てています。

◆ 金魚すくい

ポイを使ってそっとすくうことで、「指先の力加減」や「集中力」を育てています。水の中の金魚を目で追いながら手を動かすことは、「手先の巧緻性」や「目と手の協応」にも繋がります。

◆ ハサミを使った制作

ただ”切る”だけでなく、どう持つか・どこを切るか等、段階を踏んで進めています。指先の操作性だけでなく、「やってみよう！」「できた」という気持ちを大切にしながら、自信にも繋がるよう取り組んでいます。

運動面



・粗大運動(体全体を使う動き)や体幹の安定を意識した活動を行っています。運動の基礎作りは、姿勢保持や集中力にも繋がる大切な土台となります。

◆トランポリン

ジャンプすることで体の使い方やリズム感を養うだけでなく、自分の力がどう動いているのか(ボディイメージ)をつかむ力にも繋がります。また、全身運動によって気持ちがスッキリしたり、心の安定にも繋がることもあります。

◆バランスボード

ゆらゆらと揺れるボードの上で体を支えることで、「体のバランス感覚」や「体幹(体の軸)」が自然と育まれていきます。最初は「こわい・・・」とためらう姿があっても、少しずつ慣れてきて「乗れた!」「止まれた!」という達成感を味わえるようにしています。自分の体をコントロールする力が付いてくると、姿勢の安定や運動への自信にも繋がっていきます。



少人数の集団遊び

・らいおん活動では、少人数での関わりを大切にしています。大人数の中では緊張してしまったり、関わるきっかけが掴みにくい子も、少人数だからこそ安心して「一緒にあそぶ」経験を重ねることができます。

◆ ルールのある簡単なゲームややり取り遊びを通して、「順番を待つ」「相手の気持ちに気付く」「ルールを守る」といった、社会性の土台になる力を少しずつ育んでいます。また、友達の顔がよく見えたり、声が届きやすかったりする中で、「いっしょに笑った!」「気持ちが伝わった!」という喜びを味わう姿も見られています。安心できる関係の中で、「人と関わるってたのしい」と感じられるよう、子どもたちのペースに寄り添いながら活動を進めています。

🌱 クラスとのつながりも大切にしています

らいおん活動が終わったあと、クラスに戻ると、担任の先生や友達が「どんなことしてきたの?」と優しく声を掛けてくれます。すると、子どもたちは、「トランポリンした!」「スライムづくりした!」と、目を輝かせながらお話してくれます。その様子を担任がクラスのみんなにも伝えてくれたり、「今度みんなでもやってみようか」とクラスでの活動に広げたりしてくれることも!

★ らいおん活動の経験が、クラスの仲間とのやり取りや遊びへと繋がっていく時間も、大切にしています。

一人ひとりの気持ちを受け止め、クラスの中でも“その子らしさ”が自然に活かされるよう、これからも担任や保育者同士で連携しながら、その子の自信に繋がるような取り組みを考えていきたいと思っています。

(特別支援主任:村上)

《学びから保育を見つめる》

～1冊の絵本から学ぶ～

《絵本のあらすじ》

ノウサギの兄弟が草むらで母ウサギの帰りを待っています。「じっとしていれば大丈夫」という母ウサギのいいつけを守る兄弟ウサギ。チョウがきても、カエルがきても、じーっとじーっとしています。すると、大きな地響がして、人間の男の子とおじいさんがやってきました。男の子は兄弟ウサギを見て、家につれて帰ろうといいますが……。



「ちいさな」が付いている「科学の本」です。この絵本の話を知り、機会に恵まれました。のうぎは母乳を1日1回行う習性があること、濃厚で野草より栄養があること、母うぎは夜に帰ってきて授乳していること、アナウサギ・ノウサギがいること…

絵本の1頁をめくると色鮮やかな野原の緑が一面に広がりノウサギの赤ちゃんの目線で大きなカエルや小さな男の子が巨人の様に現れるのですが、その絵本の深い深い話に感動します。大人もうなる身近な不思議、かがくの世界がかわいい絵本にギュッと詰まっているのです。

《園長 松村》



学園大学の公開講座

5名で参加してきました。午前中は遊びの体験。6,500個もの紙コップを使って遊びました。高く積み上げたり、並べた紙コップの上に寝転んでみたり、重ねた紙コップでアーチを作りくぐってみたり…色々な遊び方ができ、とても楽しい体験でした！紙コップは当たっても痛くないし口にくわえてしまっても大丈夫なので、どの年齢でも安心して遊べます♪午後は記録(主にお便りやSNS)について学び合いました。午前中の体験をお便りに書く実践をし、どのように書くかより伝わりやすいか等意見を出し合いました。また、それぞれの園のお便りやSNS事情について、大切にしていることや、苦労や悩みを共有する中で、他園の様子を知ることができました。今はパソコン書きもしくはSNSやアプリ等を使った配信がほとんどなようで、ほくぶ幼稚園が手書きのお便りも書いているということに驚かれていました！いずれの方法にせよ、読み手の気持ちも考えて書くということの大切さを改めて感じました。

《以上児主任 梶》

リズム研修

7名で行ってきました。～なぜリズムをするのか？～『子どもたちが走る理由は、ただ走りたくなるからです。身体を動かすこと自体が、子どもたちにとって、ワクワクウキウキする活動です。強要され、型にはめられ、整えられてゆくものと違って、リズムはそのひとつひとつがやりたくて、動きたくて、たのしくてたまらない表現の喜びと共にある活動です』と基本の話聞き、たくさんリズム仲間、動く楽しさを体感してきました。次の日は、子どもたちに面白い沖縄の踊りを披露しましたよ！

《以上児主幹 江口》

0.1.2.3歳の発達保障を学ぶ

未満児、年少の先生たちと参加しました！眼差しをむけ、語りかけ、赤ちゃんの些細な反応に気付き応え、あげる、そんな大人の関わりが子どもの「大きくなりたい」という育ちの願いを支えています。1歳半のイヤイヤ期は、大人も大変ですが、子ども自身も初めての大きな葛藤に直面し、もどかしさを感じています。自我を拡大していく時期で、この時期の関わりが2,3,4歳に大きくつながります。大人はそんな子どもの気持ちを汲み取り「そうだったんだね、じゃあ、こうする？」と解決していく糸口を一緒に考えていくことが大切です。この時期を越え発語につながると、問題に直面したときに、気持ちの切り替えもでき一つ大きくなるのですね。子どもの理解者でありたいと、改めて学んだ1日でした。

《未満児主幹 村田》